

LEO DE MARÍA

レオ・デ・マリア ピアノ

Concert & Masterclass

ピアノ マスタークラス

2025年

11月25日(火)

ベヒシュタイン・セントラム 東京
スタジオB

(地下鉄日比谷駅直結・JR有楽町駅徒歩5分)

- ・ 10:00 ・ 15:00
- ・ 11:00 ・ 16:00
- ・ 12:00 ・ 17:00
- ・ 13:00 ・ 18:00

受講生募集!

受講料 1枠1時間 20,000円 (通訳付)
聴講料 1,000円

・ お問い合わせ tel: 080-1264-1046
mail: sophiapianomusica@gmail.com

Program

モーツァルト：ソナタ KV 282
ベートーヴェン：ソナタ op. 2 no. 3
グラナドス：ゴイエスカスより 愛と死
リスト：ダンテを読んで
ラヴェル：ラ・ヴァルス

コンサート

2025年

11月22日(土)19:30開演

(19:15開場)

ベヒシュタイン・セントラム 東京 ザール
(地下鉄日比谷駅直結・JR有楽町駅徒歩5分)

自由席 4,000円

・ コン서트 & マスタークラス
共通お申し込みフォーム



LEO DE MARÍA

“POWERFUL”, “HE PLAYS LIKE A GREAT”, “DOMINANT AND CONQUERING”

レオ・デ・マリアは、卓越した技術、優れた感受性、そして深い情熱がユニークに融合した演奏で、同世代の最高の演奏家の一人として認められている。

マドリード生まれ。アルフォンソ10世賢王大学でレオネル・モラレスに師事、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学でパヴェル・ギリロフのもと修士号を取得。マンハイム国立音楽芸術大学博士課程 (Konzertexamen) でルドルフ・マイスターに師事。

これまでに50以上の国際的な賞を受賞。南アフリカのプレトリア国際ピアノコンクール (WFIMC)、スペインのフェロール国際ピアノコンクール、ドイツのモーツァルテ国際ピアノコンクール、フランスのリヨン国際ピアノコンクールなどで第1位。

15歳でトルコのチュクロヴァ国立交響楽団とプロコフィエフのピアノ協奏曲第1番を演奏し、オーケストラとの初共演を果たして以来、世界各地の権威あるコンサートホールで演奏活動を行っている。

彼の表現力とカリスマ性は、以下のようなオーケストラとの共演で頻繁に披露されてきた：スペイン国内では、ソフィア王妃御臨席のもとユーディ・メニューイン財団と共演、スペイン国立管弦楽団 (OCNE)、ガリシア交響楽団 (OSG)、カスティーリャ・イ・レオン交響楽団 (OSCyL)、マラガ・フィルハーモニー管弦楽団 (OFM)；国際的には、リオデジャネイロのブラジル交響楽団、プレトリア (南アフリカ) のヨハネスブルグ交響楽団、ブラチスラバのスロバキア国立フィルハーモニー管弦楽団、ポルトガルのポルト交響楽団などと共演している。

中国や南アフリカなどでも定期的にコンサートツアーを行っている。2026年4月にはケープタウン・フィルハーモニー交響楽団とのツアーを予定。

現在、彼はコンサートピアニストとしてのキャリアを積みながら、指導者としてアルフォンソ10世賢王大学 (UAX) で教鞭をとっている。マドリードのモラレス・エレロ・ピアノ・アカデミーの創設者であり、スペインのクラシック音楽イベント企業 Eventos de Música Clásica の最高執行責任者 (COO) を務めている。同社は「スペイン人作曲家国際ピアノコンクール」や「マリア・エレロ国際チェロ・ヴァイオリン・ピアノコンクール」など、複数の国際音楽コンクールを主催している。

またレオネル・モラレス&フレンズ音楽祭およびマスタークラスの責任者も務めている。さらに毎年ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学サマーアカデミーに招待されているほか、アメリカ・コネチカット州のホッチキスサマープログラム、スペイン・グラナダのレオネル・モラレス&フレンズなど各地でマスタークラスを指導している。

「力強い」「偉大な演奏家のように」「圧倒的で支配的」——これらは世界中の批評家たちが彼を評する際に用いる最高の賛辞の一部である。

Website



Instagram



Facebook



Youtube



ベヒシュタイン・セントラム 東京

(東京メトロ日比谷線「日比谷駅」A9出口直結・JR山手線「有楽町駅」日比谷口徒歩5分)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目5-1 日比谷マリビル B1F

TEL: 03-6811-2925